

授業科目名	器楽演習（鍵盤楽器）(2100123)		
時間割名	器楽演習（鍵盤楽器）(12110)		
時間割担当	瀧明知恵子		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・2		

授業の目標・概要

小学校等の現場で、音楽を中心としたさまざまな活動を行うために必要不可欠なピアノ・キーボード奏法の基礎技術習得をめざす。授業は習熟度別グループ公開レッスン形式で行う。中学校以来音楽を学習していない全くの鍵盤楽器初心者から経験者まで、個人のピアノ経験によって、グレード別クラスにわかれる。教材は、「バイエル」の抜粋練習曲や「小学校低学年教科書」をはじめ、各々のグレードに応じた曲を与え、実習や就職先で役に立つものを精選する。

学習の到達目標

音楽活動に必要な音楽的知識や技術（簡易楽器の奏法やピアノ実技など）の基礎を習得するとともに、子どもの音楽的表現の特性を理解し、それを踏まえた音楽活動の内容や教材の活用、遊びの展開について学ぶ。

授業方法・形式

集団、個人、形式を変えながらピアノレッスンを行う。
個人練習の後、実践発表を行い、互いに意見交流を行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーションおよびピアノ演奏技術修得状況の確認
- 第2回 音階・調性について /ピアノレッスン
- 第3回 音階・調性について /ピアノレッスン
- 第4回 和音について（和音の意味）/ピアノレッスン
- 第5回 和音について（和音の実際）/ピアノレッスン
- 第6回 曲想・奏法に関する表示を生かした演奏について/ピアノレッスン
- 第7回 小学校における伴奏・合奏（低学年）/ピアノレッスン
- 第8回 小学校における伴奏・合奏（高学年）/ピアノレッスン
- 第9回 小学校共通教材の伴奏（低学年）/ピアノレッスン
- 第10回 小学校共通教材の伴奏（高学年）/ピアノレッスン
- 第11回 合奏曲の編曲および合奏練習/ピアノレッスン
- 第12回 小学校における音楽発表会の構成/ピアノレッスン
- 第13回 実践発表 自己評価を入れる
- 第14回 実践発表 相互評価も入れる
- 第15回 授業の総括として、実技試験を行う。

成績評価の基準

定期試験およびピアノ課題の到達状況：60％
平常点（授業への取り組み）：20％
ピアノ課題の進捗：20％

授業時間外の課題

ピアノのレッスンを受けるにあたり、毎回課される課題曲（ピアノ曲もしくは弾き歌い）の練習を行うこと。音楽理論については、特に読譜が困難な受講生は楽譜に慣れるよう、配布した課題やテキストの指摘箇所の予習復習を行うこと。

メッセージ

教材・教科書

随時指示する。

参考書

随時指示する。